

# 【R7年度】重点目標の取組・概要 (泉州山手線との交通結節点(山直東)におけるまちづくりの推進[広域幹線計画事業・泉州山手線延伸事業])

担当課(内線)	都市整備課広域連携軸整備担当(3125)	重点目標の方向性	泉州山手線沿道を中心とした拠点形成とアクセス性の向上
重点目標	2 経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	広域幹線道路の整備を推進する

現状と課題	
<p>広域連携軸である都市計画道路泉州山手線の山直工区(磯之上山直線～岸和田中央線迄の区間)については、令和5年度に大阪府建設事業評価審議会での審議を経て事業実施が適切と判断され、大阪府による「事業実施」の対応方針が公表された。</p> <p>広域交流拠点の形成を図る上で、関空方面へのアクセス道路となる泉州山手線の早期延伸は不可欠であるため、道路整備とそれに合わせた拠点形成のまちづくりを進めて行く必要がある。</p>	
R7年度の事業費(内訳)	
泉州山手線延伸事業	¥1,674(千円)
(内訳)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 泉州山手線土地境界関連手数料等</li> <li>○ 泉州山手線整備推進協議会</li> </ul>	

課題に対する取組の内容(めざす成果・期間・対象者・手法など)
<p>【中期的(4～5年後)にめざす成果】</p> <p>R7～8 : 測量・設計(大阪府)</p> <p>R9～ : 用地買収(大阪府)</p> <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <p>R7 : 泉州山手線の道路計画に接続する市道部の設計検討業務、泉州山手線整備推進協議会での要望活動</p> <p>R8～ : 泉州山手線整備推進協議会での要望活動</p> <p>【R7年度の取組内容(期間・対象者・手法など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 泉州山手線の道路計画に接続する市道部の設計検討業務(R7年度中・設計コンサルタント・業務委託)</li> <li>○ 泉州山手線整備推進協議会での要望活動(整備進捗の目途迄・大阪府、3市1町(岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市)首長及び各市町商工会議所等による要望活動)</li> </ul>

R8年度以降の想定事業費(ランニング経費)	
R8年度	43(千円)
R9年度	43(千円)
R10年度	43(千円)
R11年度	43(千円)
R12年度	43(千円)

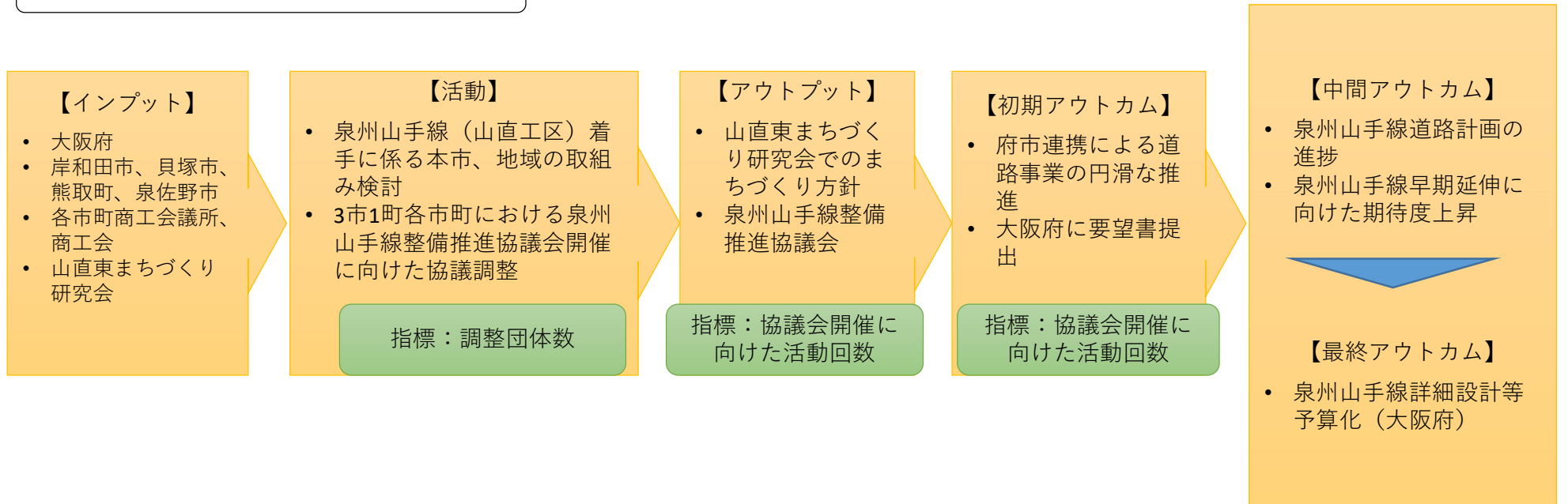
取組の進捗・成果を測る指標
<p>○ 泉州山手線整備推進協議会(3市1町首長及び各市町商工会議所等による)の活動回数</p> <p style="text-align: center;">1回/年(R7)</p>

成果・指標が未達成の場合の取扱い
<p>※必ず縮小・廃止時期を記載すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府への要望の強化</li> <li>・ まちづくり事業の推進</li> </ul>

# 【R7年度】重点目標の取組・ロジックモデル〔広域幹線計画事業・泉州山手線延伸事業〕

## ロジックモデル【事業立案時点】

### 泉州山手線延伸事業（広域連携軸の整備）



財源	他団体の状況	その他（行政サービスとしての適正性について など）
一般財源	<b>【泉州山手線延伸に関する他市状況】</b> 貝塚市 事業スケジュール（貝塚中央線～水間和泉橋本停車場線区間） 令和2～3年度 測量・設計、令和4～8年度 用地買収、令和7～11年度 工事	

## ■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- R7～8：測量・設計（大阪府）
- R9～：用地買収（大阪府）

## ■ R7年度において実施・実現できたこと

- 大阪府により、泉州山手線（山直工区）の測量、道路予備設計及び橋梁予備設計が実施、引き続き、道路詳細設計及び橋梁詳細設計着手（事業着手）
- R7年8月 泉州山手線整備推進協議会総会開催、大阪府へ要望書提出（3市1町）

## ■ R7年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- 泉州山手線の道路計画に接続する市道部の設計検討業務、泉州山手線整備推進協議会での要望活動

## ■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R7年度実績値
—	泉州山手線整備推進協議会の調整団体数	団体	4（R5）	8（R8）	8
○	泉州山手線整備推進協議会の活動回数	回	2（R5）	累計8（R8）	2 (R7までの累計：6)

## ■ R7年度において実施・実現できなかったこと

- ・ 特になし

## ■ 課題分析

- ・ 特になし

## ■ ロジックモデルの振り返り

- ・ ロジックモデルにおいて設定したとおりの活動及びアウトプット算出を実現でき、徐々に初期アウトカムの発現が進んでいる
- ・ 引き続き、事業を推進し、アウトカムの発現に努める

## ■ 次年度以降の予定・改善内容

- ・ 次年度も引き続き、3市1町（商工会議所及び商工会含む）による泉州山手線整備推進協議会総会開催及び要望書提出を実施
- ・ 大阪府による泉州山手線（山直工区）の設計の進捗に合わせた接続する市道部の詳細検討